

高校生が感動した確率・統計の授業 (PHP新書)



発売日: 2017年10月27日

出版: PHP研究所

著者: 山本 俊郎

「2枚の100円玉を投げたとき、両方とも表が出る確率はいくらでしょう？」この問いに対して、多くの小学生は「三分の一だよね」と答えますが、正解は四分の一。100円玉に区別をつけずに考えると（表表）（表裏）（裏裏）の3通りと誤ってしまいますが、区別があると（表表）（表裏）（裏表）（裏裏）の4通りです。確率は、このように自らの解き方の間違いをきちんと把握することが大切。そのためとにかくイメージを丁寧に伝えることを心がけました。一方統計は、「標準偏差」「相関関数」などの基礎知識をしっかりと身につけることに主眼を置きました。10代から大人まで楽しめる一冊です。代々木ゼミナール人気No.1数学講師による、もっともわかりやすい名講義です！ 確率の本質を言葉にすると 確率の起源はわずか350年前 「場合の数」の考え方 確率の世界へ 統計の役割

<https://rapidgator.net/file/e866da0ae31f4942e70724c694910b44/OJXslyeyq.pdf.rar.html>